

概要版

第6次西栗倉村総合振興計画

令和3(2021)年6月

生きるを楽しむ



SDGs 未来都市
西栗倉村

発行：西栗倉村役場 令和3(2021)年6月

西栗倉村役場 地方創生推進室 TEL：0868-79-2221 FAX：0868-79-2125

この計画について

すべての村民と訪れる人々が「いきいき」と「村に居続けたい、関わりたいと思うことができる」誰一人取り残さない持続可能な村に向けて 長期的な視野に立って行政運営を総合的・計画的に進めるための基本的な指針となるもので、西栗倉村が策定する全ての計画の基本となるものです。

村民の皆さんと行政が、未来の西栗倉村のありたい姿(将来像)を共有し、その実現に向けてお互いに協力しながら取り組むための具体的な行動目標や内容について示しています。

1 むらづくりの基本理念

西栗倉村のこれからのむらづくりにおいて、全ての分野にわたる基本的な考え方である“基本理念”を右のとおり定めています。

2 むらの未来像

“将来像”は、村が今後目指していく、こうありたいという姿を示しています。前節の『むらづくりの基本理念』を踏まえ、西栗倉村の将来像を右のように定めています。

3 分野ごとのビジョン【分野別目標】

むらづくりの4つの「基本理念」を踏まえつつ、村の将来像『生きるを楽しむ 百年の森林(もり)に育まれたむら』の実現に向けて、行政の各分野で目指す姿を右のように定めています。

基本理念

- I. 全ての人の「生きがい」を育む むらづくり
- II. 豊かな自然とのつながりを育む むらづくり
- III. 将来への希望を育む むらづくり
- IV. 村民が関わり合い、支えあう むらづくり

むらの未来像

生きるを楽しむ
百年の森林(もり)に育まれたむら

【分野別目標】

最後まで自分らしく
生きるを楽しむ むらづくり
【保健・医療・福祉】

全ての村民が笑顔になる
未来志向の むらづくり
【教育・文化】

地域の魅力を
誇りにつなげる むらづくり
【産業】

多世代・多様な人が暮らし続ける
ことができる むらづくり
【生活環境・基盤整備】

共に助け合い、協創する
持続的な行政運営の むらづくり
【協働・行政】

施策体系と重点戦略

【分野別目標】

最後まで自分らしく
生きるを楽しむ むらづくり
【保健・医療・福祉】

- 1 健康に過ごし続けるための備え
- 2 魅力的な子育て環境づくり
- 3 誰もが暮らし続けられる環境づくり
- 4 医療体制などの充実

全ての村民が笑顔になる
未来志向の むらづくり
【教育・文化】

- 1 社会とつながるきっかけづくり
- 2 スポーツに出会う環境づくり
- 3 文化に触れ、継承する環境づくり
- 4 質の高い学校教育の推進

地域の魅力を
誇りにつなげる むらづくり
【産業】

- 1 地域の農業を支える環境づくり
- 2 林業の振興と森林の多様化と価値最大化
- 3 地域の光を魅せる取組推進
- 4 地域経済循環を生み出す商工業の推進

多世代・多様な人が
暮らし続ける
ことができる むらづくり
【生活環境・基盤整備】

- 1 交通基盤の整備と持続可能な維持管理
- 2 長く住み続けることができる環境づくり
- 3 空き家対策の推進
- 4 ごみの減量化とリサイクルの推進
- 5 脱炭素化に向けた取組推進
- 6 上下水道の持続可能な維持管理
- 7 地域の消防・防災力の向上
- 8 安心して暮らし続ける環境づくり

共に助け合い、協創する
持続的な行政運営の
むらづくり
【協働・行政】

- 1 あらゆる主体の参画・連携により地域を支える
- 2 持続可能な行政事務の実施
- 3 持続可能な公共財管理と財政運営
- 4 いつでも どこでも だれでもつながる
- 5 あちらこちらで進む情報の共有化
- 6 取り残されそうな領域をほっとかない

今後のむらづくりにおいて、将来像を実現するためには、特に重点的に取り組むべき以下のような課題があります。これらの課題はそれぞれが関わり合っているため、個別に対策を講じるのではなく、複合的・総合的に取り組むことが大切です。

【むらづくりの重点戦略】

地域、世界とつながる
教育環境づくり

誰一人取り残さない
暮らしの環境づくり

地域経済循環を高める
農商工支援

「百年の森林構想」の実現と
森林価値の最大化

IT 基盤の整備及び活用促進

地域の資源・人をつなぎ、
つながりを育む

	目指す姿	基本方針	施策
1-1 健康に過ごし続けるための備え	一人ひとりが、自分の体と健康に対する知識をもち、ご飯をいつまでもおいしく食べることができるむら	様々な健康状態とライフステージに応じた適切な支援により、一人ひとりの心と体の健康づくりを推進していく。	1. 自分の心身に関心を持ってもらうための取組推進 2. 健診・検診受診率の向上 3. 取り残さないための保健指導の充実
1-2 魅力的な子育て環境づくり	誰もが切れ目なく子育て支援を受けられ、多様な子育て環境の中で、子どもたちがのびのびと育つことができるむら	一人ひとりの顔が見える村ならではのきめ細やかな対応と環境づくりにより、誰もが安心して子育てができるよう支援していく。	1. 切れ目のない子育て支援の提供 2. 選択できる保育環境に向けた取組推進 3. 様々な人のつながりによる子育て支援の促進 4. 子どもの生きる力の育成
1-3 誰もが暮らし続けられる環境づくり	高齢者や障がい者誰もが、地域社会を構成する一員として、地域でいきいきと自分らしく暮らし続けられるむら	様々な機関の連携による福祉サービスの提供や包括的な支援体制により、高齢者や障がい者が自分らしく地域で暮らし続けていけるよう支援していく。	1. 生きがいづくりの支援 2. 自立支援・介護予防の充実 3. 暮らし続けられる環境づくり 4. 次世代が安心して見守ることができる介護環境づくり
1-4 医療体制などの充実	市内外の関係機関の連携などにより、村で暮らしながら安心して医療サービスを受けられるむら	保健・福祉・介護などとの連携や、西栗倉村診療所での幅広く充実した総合診療などの提供により、村内の医療体制を充実していく。	1. 誰もが医療にアクセスできる環境づくり 2. 救急体制の周知 3. 社会保険体制の充実



西栗倉村社会福祉協議会で実施された健康体操



保育園の様子



西栗倉村社会福祉協議会が運営する
小規模多機能型ホームの様子

	目指す姿	基本方針	施策
2-1 社会とつながるきっかけづくり	多様な生涯学習の機会が創出されており、誰もが生きがいや喜びを感じながら、いきいきと活動しているむら	あわくら会館や図書館を拠点に、様々な世代の学びのニーズに対応し、人と社会とのつながりを創出していく。	1. 読書活動の普及推進 2. 拠点を活かした情報と人が出会う場づくりの推進 3. ESD 教育、SDGs 教育の推進 4. 活動発表の場の創出推進
2-2 スポーツに出会う環境づくり	多くの村民がそれぞれにあったスポーツや運動を日常的に楽しみ、健康的にいきいきと活動しているむら	村民一人ひとりの適性や体力、生活スタイルにあわせたスポーツ活動や運動習慣を継続的に進めていくよう支援していく。	1. 選択できるスポーツ環境づくり 2. スポーツを活かした健康増進の推進
2-3 文化に触れ、継承する環境づくり	村の文化や風習が地域への愛着や誇りとして浸透し、今の暮らしに役立て、次の世代につなげるむら	西栗倉村の先人が築いた歴史や文化を次代につなぎながら、新しい文化へとつむぎ、村民の理解と関心を高めていく。	1. 地域の文化的資源の継承と活用 2. 地域固有の文化活動の推進 3. 多様な文化・芸術に触れる機会の創出
2-4 質の高い学校教育の推進	次代を担う子どもが、質の高い学びの中で生きる力を身につけ、心豊かに育つことができるむら	地域と世界を意識しながら、多様性を認めつつ、西栗倉ならではの質の高い教育を進め、子どもの成長を支えていく。	1. 安心して学べる教育環境づくり 2. 地域を知り、世界を知る学校教育の推進 3. ふるさと元気給食の推進（学校給食を通じた食育の推進） 4. 高校通学に対する負担解消の推進



あわくら会館を活用した作品展示の様子



栗倉神社獅子舞保存会



特色ある教育活動

3 地域の魅力を誇りにつなげるむらづくり

分野別計画【産業】

	目指す姿	基本方針	施策
3-1 地域の農業を支える環境づくり	意欲ある人がやりがいを持って取り組める、高い生産性と付加価値がある農業ができるむら	新しい技術を取り入れながら、生産性が高く安定した農業基盤づくりや、付加価値をもたせた生産・販売体制を強化し、地域の農業を支える環境づくりを行っていく。	1. 農業の担い手の育成・確保 2. 農産物の付加価値の向上と新たな販路開拓 3. 農業基盤の安定 4. 農作物の地域循環支援
3-2 林業の振興と森林の多様化と価値最大化	森林価値を最大化し、森林の多面的機能が維持され、次世代も誇れる信頼される林業	百年の森林づくりを推進及び森林の多面的機能を向上させるとともに、子どもや村民も含めた多様な人材と森林との関わりを向上させていく。	1. 林業の担い手の育成・確保及び子どもや村民の関わりへの向上 2. 林業の作業性の向上 3. 林産物の付加価値の向上 4. 森林価値の最大化
3-3 地域の光を魅せる取組推進	村の地域資源を掘り起こし、磨きをかけ、発信し、みんなの笑顔とにぎわいがあふれるむら	村内の魅力的な活動やひとなどを観光資源として発信し、新たな宿泊交流施設とつないでいく。	1. 村の観光資源の掘り起こしと魅力発信 2. 村の宿泊施設の確保と魅力向上 3. 新たなツーリズムの開発
3-4 地域経済循環を生み出す商工業の推進	地域の魅力を生み出す人材を集め、育て続ける、魅力と活力のある商工業が継続的に展開されるむら	村民の日常生活や雇用を支える商店・事業所の経営支援及びローカルベンチャー事業を通じ、商工業の維持・活性化を図っていく。	1. 商工業事業者の安定的な経営の支援 2. 新たな産業・雇用の創出に向けた起業・創業の支援 3. 次世代との関係性づくり及び村内外の求人情報の収集・提供



西栗倉村で収穫された「あわくら源流米」と「おおがや米」の令和2(2020)年産新米が新パッケージで販売



西栗倉 アプリ村民票



ローカルベンチャースクール
最終選考会・集合写真

	目指す姿	基本方針	施策
4-1 交通基盤の整備と持続可能な維持管理	誰でも安全に、負担が少なく移動できる交通基盤が整っているむら	安全に利用できる道路環境の計画的な維持管理を進め、子どもや高齢者が利用できる地域の交通手段を検討・整備をしていく。	1. 道路網の計画的・持続的な整備・維持管理 2. 地域の足となる交通手段の確保 3. 安全・安心な暮らしを守る道路除雪の推進
4-2 長く住み続けることができる環境づくり	多くの人が住みたい、住み続けたいと思い、それを支える雇用環境と住まいが整っているむら	村内の企業や住宅など既存資源を活用しながら、移住希望者のニーズに沿った定住化を推進していく。	1. U・Iターン者の受入体制・環境の充実 2. 村民が転出しない環境づくり 3. 定住化に向けた就業支援の充実
4-3 空き家対策の推進	空き家が地域資源として活用されると共に、安全な居住環境へ改善されているむら	地域の不動産資源の活用及び地域の居住環境の改善を図っていく。	1. 空き家等の実態把握 2. 空き家の活用及び周辺環境の整備
4-4 ごみの減量化とリサイクルの推進	村民一人ひとりの環境意識が高く、ごみの減量化やリサイクルが進み、環境負荷を軽減しているむら	ごみの減量やリサイクルに対する村民の意識向上を図り、環境負荷を軽減していく。	1. ごみの減量化と適正処理の推進 2. ごみの不法投棄の防止 3. リサイクルの推進
4-5 脱炭素化に向けた取組推進	脱炭素化に向けて、省エネルギー・再生可能エネルギー対策が進んでいるむら	官民一体で省エネルギー対策を推進し、再生可能エネルギーを積極的に導入していく。	1. 省エネルギーの推進 2. 再生可能エネルギーの推進 3. 電気自動車の活用
4-6 上下水道の持続可能な維持管理	安心して利用できる上下水道が計画的に整備・更新されているむら	新しい技術を取り入れつつも、行政と村民の直接的な対話と村民サービスの改善サイクルを回し、村民に寄り添ったサービス提供を行っていく。	1. 安全でおいしい水の安定供給 2. 排水処理対策の推進 3. 持続可能な維持管理方策の検討
4-7 地域の消防・防災力の向上	地域で生き抜く力をつけ、火災や災害に対する高い対応能力を持ったむら	地域防災計画に基づき、消防、行政などの関係機関や自助・共助が機能し、村民の安全が確保される仕組みをつくっていく。	1. 地域防災力の向上 2. 地域で活用できる情報の整備 3. 防災体制の確保・充実 4. 地域防災計画の見直し、防災マップの整備
4-8 安心して暮らし続ける環境づくり	一人で悩まず、誰かが助けられる、安心して暮らし続けることができるむら	継続的な周知活動により村民の交通安全・防犯意識を高め、常日頃から気にかけて助け合える関係性をつくっていく。	1. 自主防犯意識の高揚による地域防犯力の向上 2. 誰もが誰かに相談できる環境づくり 3. 交通安全対策の推進

	目指す姿	基本方針	施策
5-1 あらゆる主体の参画・連携により地域を支える	誰もがそれぞれの立場や役割のもと、むらづくりに主体的に関わっていける、みんなが支えあい協創するむら	村民誰もが垣根なくつながっていくことで、多様なステークホルダーによる協働の取り組みを進めていく。	1. 地域コミュニティ活動の促進 2. 多様なステークホルダーとの協働による地域づくり 3. 地域を支える新たな担い手の参画促進
5-2 持続可能な行政事務の実施	村民のニーズに応じた効果的な業務が遂行され、職員一人ひとりの能力が発揮された持続的な行政運営を行うむら	職員が持続可能な環境の中で、庁内横断的な組織体制を活かしながら、村民ニーズに対応した適切な業務を行っていく。	1. 効果的な事業の実施 2. 職員の意識改革と資質向上 3. 持続可能な行政運営とそのための環境づくり
5-3 持続可能な公共財管理と財政運営	計画的、臨時的なあらゆる行政需要に対して、適正かつ柔軟に対応できる財政運営を行うむら	長期的な村有施設マネジメントの視点をもとに、財政シミュレーションを作成・実行し、安定的かつ柔軟な行政運営を行っていく。	1. 健全な財政基盤の確保 2. 計画的効果的な財政運営の推進 3. 村有施設及び設備の計画的な整備 4. 村有財産の適正な維持管理
5-4 いつでも どこでも だれでもつながる	情報基盤を活用することで、村民課題の解決や生活の質的向上させ、誰一人取り残さない地域づくりを実現しているむら	新しい技術を取り入れつつも、行政と村民の直接的な対話と村民サービスの改善サイクルを回し、村民に寄り添ったサービス提供を行っていく。	1. 高速通信網の有効活用 2. 光ファイバ網の維持・整備 3. 村民サービスの向上と職員の業務効率化
5-5 あちらこちらで進む情報の共有化	村民と行政の情報の共有化があちらこちらで進み、相互の厚い信頼関係が構築されているむら	情報基盤をもとに分かりやすく効果的な情報発信を行い、行政と村民が情報を共有し、協働の取り組みを進めていく。	1. 広報・広聴活動の推進 2. 情報公開の推進と個人情報保護の徹底
5-6 取り残されそうな領域をほっとかない	多様な価値観を受け入れ、差別や偏見がなく一人ひとりがいきいきと個性を発揮できるむら	人権や男女共同参画に関する情報を繰り返し村民に提供し、村民の理解を深めていく。	1. ダイバーシティの推進 2. 人権啓発及び人権教育の推進 3. 取り残されそうな領域に目をさりげなく光らせる 4. SDGs の推進

計画の推進

行政・村民・地域・団体・企業の『協働』による計画の推進

総合振興計画は、本村の今後のむらづくりの基本的な方向性を定めたものですが、すべて行政だけで実施できるものではなく、村民はもとより、地域や団体、企業等の協力と連携、協働が不可欠です。すべての主体にとって将来像の実現に向けた行動指針となるよう、村民、地域、団体・企業及び行政それぞれが役割を果たし、みんなでむらづくりを進めていくことが大切です。